

令和7年度（9.3）学校自己評価

中津市立深水小学校

<p>評価判断基準</p> <p>A …達成率90～100%</p> <p>B …達成率70～ 89%</p> <p>C …達成率60～ 69%</p> <p>D …達成率60%未満</p>

1 学校の教育目標

多様性を尊重し、ともに学びあい、自主・自立の力を身につけた児童の育成

2 育成を目指す資質・能力 【 コミュニケーション力 】

3 重点目標・達成指標、重点的取組等

重点目標	達成指標		重点的取組	取組指標	評価	成果と課題、及び次期に向けての取組
生きて働く知識・技能の習得	基礎基本の定着（もっと学びたい）	学校	◇児童が「学ぶことが楽しい」と実感できる授業づくり ◇個別最適な学びの保障	○大分スタンダードにもとづいた授業を行う。 ○授業で習得したキーワードを使った「まとめ」「振り返り」を1日2回以上行う。振り返りでは、学習の過程を振り返らせるようにする。 ○毎日、個に応じた学習時間を保証する。（Aドリルや個別の弱点に特化したプリントなどを朝学習や授業の終末に使用）	B	①国語単元末テスト（知・技）・・・57% 算数単元末テスト（知・技）・・・57% →言語と漢字、読みに重点を置いた学習を取り入れる。 ②児童アンケート「授業がよくわかる」の項目 肯定的評価100%
		家庭	◇基本的な生活習慣の確立	○保護者は毎日「早寝・早起き・朝ごはん」を続ける。	A	早寝早起き朝ごはんに心がけている・・・肯定的回答100% 家庭学習の確認をしている・・・肯定的回答75% →家庭への周知を継続する。
		地域	◇学習への積極的支援	○地域は、学習内容に応じたゲストティーチャーとして授業支援を行う。	A	読み聞かせ・農業体験・書写・道徳授業・ダンス指導等さまざまな活動で支援。
思考力・・・表判断力の育成	学びを深める、拡げる力の育成（もっと挑戦したい）	学校	◇協働的な学びの時間の充実	○「発言・発表マニュアル」を活用した発言・発表の場の設定 ○国語、算数は、多様な活用問題に取り組みさせる。（単元毎に） ○「背伸び読書」及び「すきま読書」に取り組みさせる。（週2回以上） ○新聞ワークシートを週に1回以上使用する。	A	③～⑤ →発言の場を設定するが、評価されることが少ないので、多くの交流が必要。さまざまな体験の機会を設定しているが、取り組みを強化していく。
		家庭		○長期の休み（連休を含む）に、親子読書活動に取り組む。	A	→家庭への周知を継続する。 →工夫した読書活動の場をつくる。
		地域	◇背伸び活動の推進	○地域は、学校行事に積極的に参加・支援を行う。	A	様々な行事で地域や学校と交流している。
学びに性向かう涵養	協働的に課題を解決する力の育成（もっと貢献したい）	学校	◇児童会活動を通じた自主的・創造的な活動の推進 ◇豊かな体験活動の充実	○学校生活上の課題を見つけ、全校学活や児童総会で、改善を図るための話し合いをさせる。	A	全校で遊びを話し合いにより決めたり、総会では、全員が考えを発表できている。 →話し合いをまとめる力をつけていくことが課題である。
		家庭	◇家族の一員としての役割分担の明確化	○子どもの思いを尊重した話し合いをする。家族の一員としての「家の仕事」を決め、すすんで実行しているときは、その都度、ほめる。	A	保護者アンケートA評価・・・100% →継続して取り組む。
		地域	◇深水子ども応援団活動の継続	○学期に2回以上、深水子ども応援団活動（道徳、総合的な学習、環境整備等）を行い、対話をしながら児童の活動意欲を高める。	A	プール掃除・田植え・道徳授業・あいさつ等 多くの方の支援がある。
働き方改革の推進	校務分掌の効率化	学校	◇会議時間内の効率的運営	○各種資料の電子データベース化による事前共有 ○各種の活動や行事等の来年度用の直後プランの作成 ○会議は水曜日14：45～、上限を60分以内に設定	B	時間の確保・・・教職員アンケート100% データベース化、ペーパーレス化 →出勤時間を減らす。
		家庭	◇会員減による活動の効率化	○保護者は行事を精選し連絡メールで日常的に連絡・調整を行う。	B	→行事のお知らせ等、ホームページやすぐーるの活用を進める。
		地域	◇学校運営協議会の充実 ◇PTA準会員としての学校支援	○各種会議では、建設的な意見等で意形成を図る。 ○毎月8日の三光あいさつ運動に参加したり登下校の見守りをしたりする。 ○学校だよりで情報を共有し積極的に学校の活動に参加する。	A	→地域への周知の方法を検討する。すぐーるの登録等。